



令和7年度 学校経営方針

令和7年4月1日
江東区立豊洲西小学校
校長 櫛田 光治

【教育目標の実現】

<教育目標>

人権尊重を基調とし、グローバルで多様性を尊重する共生社会に向けて、自己をみがき、人や地域、環境と豊かにかかわり、希望をもって自ら未来を切り開くための資質・能力の育成を目指し、次の目標を設定する。

『未来を開く』 ○あかるい心 ○やさしい心 ○たくましい心

<目指す児童像> 『未来を開く こども』→未来志向の精神を基盤に、知力・体力の向上を図る。

- あかるい心→前向き・積極的に人・事に関わる子 **夢・目標をもち挑戦**
- やさしい心→互いを大切な存在として尊重し合い、応援・許容する子 **自他に優しく**
- たくましい心→失敗をおそれず挑戦し、挫けずやりぬく子 **最後まであきらめない**

<目指す学校像> 『みんながかがやく！ みんなでかがやく！』夢を育てる笑顔あふれる学校

- 児童の夢を育む（知的好奇心・感動・満足感・達成感）学校
- 保護者・地域が信頼する（理解・協働）学校
- 教職員が誇りに思う（参画意識・互助補完・自己成長）学校

<目指す教師像> こども真ん中に、自己を磨く教師

- 児童一人一人を大切にし 心から愛情を注ぐ教師
- 志を高く自己研鑽に励み 互いに高め合う教師
- 児童・家庭・地域から 専門職として厚く信頼される教師

【学校経営の基本方針】

令和7年度 学校スローガン「みんながかがやく！ みんなでかがやく！」
～学び合い・かかわり・つながり～

1. みんながかがやく学校

(1) 学び合い

- 江東学びスタンダードネクストステージを着実に 学力の二極化を防ぐ
- 「令和の日本型学校教育」の展開 主体的・対話的で深い学びの実現、授業改善
- 学校風土の確立 学年団を中心に「見合い、学び合い」
- タブレット端末・デジタル教科書等 ICTの活用を日常化
- 校内研究・W E S T研修等の充実

(2) かかわり（本年度の重点）

- なかよし班活動学年による交流活動の充実
- 心を育てる あきらめない、失敗をおそれない、全力で頑張る子
- 「よいところみつけ」互いの良さを認め合う
- キャリア教育「夢を育む特別授業」の実施 ゲストティーチャーの招聘
- 特別支援教育の推進 特別に支援を要する子への理解と組織的な対応

(3) つながり

- 地域学習 学校・地域協働本部（とよにしSC）と連携した体験・交流
- PTAによる学級別活動（学年別活動）、イベントの充実
- 自他の生命を尊重する授業 弁護士によるいじめ防止授業
昭和大学附属江東豊洲病院との連携による命の授業
- オリ・パラ教育レガシー アスリート交流・パラスポーツ体験等
- 体を動かすことを厭わないこどもの育成
校内研究（体育の授業改善 体育的活動の工夫）

2. 保護者・地域が信頼する安心・安全な学校

(1) 教師がチームで子どもを大切にしていると感じる風土

- 基盤は学年・学級経営 子どもたちにとって望ましい集団
保護者への説明責任ができること。
- ふれあい月間、校内組織による対応、関係諸機関との連携
- できたら褒める 自己有用感、自尊感情が高まる活動の実施
- スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーとの連携

(2) 積極的な情報発信 学校の取り組み、様子を随時発信

- 学校HPの工夫、タブレット端末の活用
- 学校公開・保護者会の充実 もっとも重要なPRの場面である
- 迅速な対応 学年主任・管理職への報・連・相→保護者への連絡・報告

(3) 安全対策のさらなる整備

- 校内安全点検の充実 施設設備の整備 避難経路等の整備
- 教室内は常に整理整頓、安心して学習に取り組める環境の提供
- 事故（校内・校外）対策と未然防止指導の充実

(4) 地域・保護者の教育力を味方に

- 特色ある教育活動（学校施設の有効利用・ボッチャ交流、ゲストティーチャー、水泳指導等）を生かす
- 地域・PTA行事への教員の積極的参加 富岡八幡宮こども神輿など
- 積極的な地域学習 地域素材の積極的活用
学校地域協働本部・地域人材・保護者・ボランティアの活用

3. 教職員が誇りに思う学校

(1) 自分の夢がめざせる

- 教科の専門性を高める 昇任選考 在外教育施設派遣 大学院派遣 都研究員

(2) 自分が成長できる

- 教育力（授業力・生活指導力）の向上のための学びの機会が豊富であること
外部との折衝力・連携力が身に付く

(3) やりがいがある

- 学校運営への積極参加 校務分掌組織 新しい事へのチャレンジ

(4) 協働 高め合う 応援し合う風土

- 働き方改革の一層の推進 交換授業 一部教科担任制 学年会の充実